



津小だより

〒959-4402 阿賀町津川3234

R7.1.14 No.9

大雪の中で2025年 巳年がスタート！

校長 高松 豊

去年は地震、今年は大雪で3学期がスタートしたように感じます。雪といえば、子どもの頃はものすごく降ったことを覚えています。当たり前すぎて、いやだった思い出より楽しかった思い出の方が多いのですが…。東蒲原の昔を振り返ってみたいと思い、4つの学校の記念誌から冬の暮らしを探してみました。

(申し訳ありませんが、記念誌に掲載されているということで、ご本人に了解はいただいております。)



子供たちとのことで、楽しいことが、たくさんありました。中でもスキー授業が印象深く思い出されます。高学年のスキーは、清川スキー場でした。清川までは期待大きく、みんな早足でした。中学年のスキーはBGの裏でした。いつもコース作りから始め、踏み固めて滑れるようになると、終わる時間になることも度々でした。

(元職員 渡部 学 さん)

校舎は現在のような鉄筋コンクリートではなく、木造で冬は雪が入ってくるような校舎でした。今では石油ストーブですが当時は火鉢があるていどでした。ですから、冬期間の寒さは身にしみました。雪が1尺5寸(約155cm)も積もったときは、地区の人が学校まで道を付けてくれ、馬の背のような一本道を歩いて通いました。

(卒業生 斎藤 実 さん)

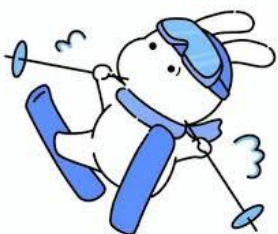
昭和36年頃は児童数が千名を超え、活気に溢れる学校でした。その後電工の減少で児童数は激減、20通も30通も児童の転校書類を出すときは、本当に心細くなったものです。

スキーは、天名スキー場で大会が開かれました。大会が終わったカチカチのゲレンデで女先生だけで転びながら滑ったことが思い出です。

(元職員 江花 イク さん)

昭和8年頃の服装は男の子も女の子も着物でした。冬はその上にモンペをはいて通学しました。ほとんどの子供たちが夏は草履か下駄、冬はゴム長靴、それがない子は、藁で編んだ長靴のようなものをはいて通学しました。冬はまだ暗いうちから村の人が当番でかんじきをはき、雪踏みをして道をつけてくれました。

(卒業生 高松 ユキエ さん)



まさに雪との戦い！雪国の人々にとって冬の暮らしは大変だったことが分かります。スキー場もたくさんあったのですね。私は、日出谷中学校の裏山がホームゲレンデでした。カニ歩きで何回も登るので、汗びっしょりになりながら楽しく滑ったことを覚えています。

昨年度は、一回もスキー教室を実施できなかったのが、この冬は、子どもたちと三川温泉スキー場で楽しく滑りたいと思います。

第2回 学校評価の結果をお知らせします！

2学期末に実施した学校評価の結果をお知らせします。保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。(詳しい結果は、後日配付する予定です。)

知育	算数のワークテスト「思考力・判断力・表現力」の問題で正答率80%を上回る児童を全校の80%以上にする。	78.0%	B
徳育	自分や友達のよさを見つけることができる児童を全校の80%以上にする。 (児童・保護者・教師の三者が80%以上ならばA)	児童 97.9 保護者 90.7 教師 94.8	A
体育	20mシャトルランで、春の体力テストと比べて向上した児童を全校の70%以上にする。	71.1%	A

校内書き初め大会を開催しました！



<1年生>



<2年生>



<3年生>



<4年生>



<5年生>



<6年生>

【3学期の主な行事】

1月14日 スキー教室(2・4・5年)
 1月16日 スキー教室(1・3・6年)
 1月17日 だんごさし(1・2年)
 1月20日 スキー教室(2・4・5年)
 1月24日 スキー教室(1・3・6年)
 2月6日 新1年生入学説明会
 2月12日 学習参観日・学年懇談会

2月28日 6年生に感謝する会
 2月28日 PTA 役員全体会
 3月7日 学校運営協議会
 3月12日 地区子ども会
 3月18日 給食最終日
 3月21日 3学期終業式
 3月24日 卒業証書授与式



